



# たかしま takashima

気が付けば冬の気配の12月。  
高島保育園のりす組(3歳)さんで、  
カラフルなクリスマスかざりを  
作りました。



秋の遠足で  
拾ってきた松ぼっくりも  
みんなで色つけしたんだよ♪  
(11月14日:高島保育園)

## CONTENTS 目次

人と人、人と自然が繋がるまち	2・3
火災から大切な命を守る!	4・5
タウンピックアップ	6
市長日記	7
情報お知らせ版	8~15
みんなのページ	16・17
まちネタ写真館	18~21
そうだ、図書館に行こう♪	22・23
健康生活してますか?	24・25
みんなの子育て応援します!	26・27
お知らせ・窓口たより	28・29
行事カレンダー	30・31

12月号  
平成17年



2005  
December  
No.12

Home Page Address  
<http://www.city.takashima.shiga.jp>  
Mail Address  
t-info@city.takashima.shiga.jp

広報たかしま 2005.12.1発行

Takashima 2005 December No.12

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課  
〒520-1592 滋賀県高島市新堀町北畑 565 番地 ☎0740-51-8130  
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>  
高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp

## 高島市 歴史散歩 No.12

### 安曇川の歴史を伝える橋 — 安曇川大橋・本庄橋・常安橋 —

県下有数の大河である安曇川には、数多くの橋が架けられ、現在の人々の生活になくてはならないものとなっています。

旧国道がとおり、現在は県道新旭高島線となっている安曇川大橋は、

木橋時代の安曇川大橋



橋梁に「昭和八年 汽車製造株式会社 製作」と刻まれた鉄板が取り付けられていて、現在の橋が昭和八年に開通したことが分かります。それ以前は木橋で、大正時代に出版された『高島郡案内』には「湖西第一ノ大川安曇川流域新儀村青柳村両所屬ナル西近江路二架設セルモノニシテ明治十九年迄八渡船を以テ交通セシヲ同年時ノ知事申請ヲ容シ初メテ架設入、現時ノ橋ハ明治三十九年六月更ニ架設セシモノナリ」とあり、木橋は明治十九年に架けられ、水害等によって明治39年に付け替えられたものであると記されています。

洪水の影響をうけ続けたのは本庄橋で、明治22年、安曇川の洪水によって川幅が広がり、舟渡しが困難となったために架けられた仮橋が、その始まりといわれています。昭和10年に鉄筋コンクリートの橋に架け替えられましたが、その後も洪水に

よる被害が続き、琵琶湖総合開発による河川改修で川幅が広げられ、橋脚間隔の広い現在の橋が完成して洪水の心配が半減したのは、昭和45年のことです。

昭和33年に現在のコンクリート橋として完成したのは、安曇川町常磐木と新旭町安井川を結ぶ常安橋で、橋の名称は、この両岸の地名の頭文字をとったものとされています。この常安橋も、昭和24年のヘスター台風や28年の台風13号などでは洪水による被害をうけ、流失や復旧を繰り返しました。また、この橋のわずかに上

流には、昭和初期まで「十八川の渡し」と呼ばれる渡し場があったことが知られています。  
(文化財課)

現在の常安橋



編集後記

使った後は綺麗にと、グラウンド整備をして帰る受験者の皆さん。(11月12日、大家友和社人クラブトライアウト(入団試験)より)

▼なんだか知らない内に12月、ずいぶん寒くなってきました。暖房器具も登場し始める季節ですが、市内では少し前から火事が続いています。これから本格的な冬が訪れますが、皆さん体調管理と火の用心にはホント気を付けてください。▼今月号の特集は、高島市が目指す環の郷のまちづくりを紹介。「人と人、人と自然が繋がる」なんて言うところちょっと難しいかもかもしれませんが、例えばたくさん造りすぎた煮物をお隣さんにお裾分けしたりとか、在所のみんなで川掃除をするとか、簡単に言っちゃえばそんな事じゃないかなと思います。他人と家族のボーダー(境界)が緩やかな、みんなに優しいまち。人口や面積がどんなに大きくなることも田舎は田舎。高島らしさって何だろうってみんなでコタツに入りながら話してみたいですね。▼秋はイベント盛りだくさんのシーズンでした。色々な所のお祭りにお邪魔しましたが、去年まで隣町だった所からの出店が沢山ありました。これも市になって生まれた新しい繋がり「環の郷」ですね。  
(広報担当)

